

「別に大した物じゃないしビミョーに値段高いしで買うかどうか悩むけど、  
あると便利と言うか、やっぱり無いと何だかんだ困る天文機材」

田中 直樹

妙に長いタイトルですが、そのまんま。

天文機材って、買うかどうか悩む程度に値段の張るものが多いものです。  
何十万もするような、明らかに買うのに勇気がいるようなものは置いていて、中には「こんなもんが  
万円、ン千円もするの？」と言うものとか、買うかどうかの判断ギリギリの値段の物も多く、貧乏人  
には何とも悩ましい。

しかし、そんなものでも専用品とかもあったり、無かったら無かったで支障が出たりで、どうしても手  
を出さざるを得ないものも多いです。

今回はそんなこんなで買ってしまったしょーもないブツの数々のご紹介。

### (1) :31.7mm 天頂プリズム

ご存知、ビクセン製の何の変哲も無いアメリカンサイズの天頂プリズム。



今までこの手のものは2インチの物やビクセンの  
フリップミラーを使っていたのですが、どうしても必  
要になってしまった理由がありました。

それは、国際光器の6.5cm 屈折「ED65Q」を眼視  
用に使うとなると、それまでの2インチミラーやフリッ  
プミラーを使うと光路長が合わず、アイピースのピン  
トが合わない訳です。



しかしながら、31.7mm の天頂プリズムを使えば、  
アメリカンサイズのアイピースしか使えなくなるもの  
の、ED65Q のピントが合うようになりました。

元々眼視にも撮影にも高い光学性能を誇るという  
触れ込みの鏡筒でしたので、チョイ見やお気楽撮  
影に非常に使えるようになりました。比較的軽量コ  
ンパクトで持ち運びもラクなので、最近はお望望会な  
どでも引っ張りだこです。

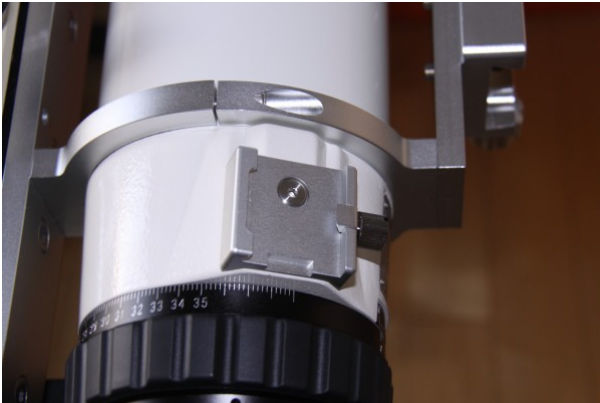
で、出番の無くなったお気楽観望用鏡筒、SE120 屈折。

でも、SE120 は31.7mm のアイピース(天頂プリズム)を使えばケラレが無くなるという話もあります  
から、そちらも試してみたいところです。

…今度はちゃんとした31.7mm のアイピースが欲しくなったという畧。

## (2) : VSD100F3.8 専用ファインダー台座

VSD のファインダーは、鏡筒の設計がペンタックスのそれと同じなだけあって、ペンタのファインダーと互換性があります(※)。が、その為、ビクセンのファインダーを取り付けるには専用のファインダー台座が必要となります。※が、ペンタのファインダーなんて持ってない。



でもね・・・このファインダー台座、通常のビクセンファインダー脚用ファインダー台座の値段と比べて、**10倍** くらい高いのよね・・・(涙。

(まあ、結構凝った作りだし、VSDの生産数に合わせた超極小ロットだと言うのは容易に想像付きませんが、にしても、ちょっと高すぎやしない?)

しかし、ファインダーが無いと、撮影の時の赤道儀のアライメントが極めて難しかったので(今まではずごく時間かかった。)、ファインダーがあるとないとはアライメントの容易さは雲泥の差。

とまあ、こんな感じで「一見しようもないけども、無いと困る」アイテムは非常に多いです。しかし値段が値段なので、痩せ細った小遣いでは手を出しにくいですが、微妙な値段と言う事は衝動買いのトラップになりうる(wと言う事でもあるので、おそらくは今後もこういった機材とネタが増えていく物かと思います。(何十万するような機材は当面買う予定はございませんゆえ。)

その時は、今後も会報誌やブログなんかでも紹介したいと思います。  
(ネタの使い回しともいう。)